

2022年9月3日

鳥取県コンクリート診断士会

〒682-0025 倉吉市八屋 354-1

☎0858-26-2411 Fax0858-26-5537

第6回 山陰両県コンクリート診断士会 合同研修会

山陰両県のコンクリート診断士会は、平成27年の設立10周年記念大会を契機として両県交流会を年1回程度開催することとなり、平成28年に「第1回目山陰両県コンクリート診断士会合同研修会」を米子で開催し、これまでに両県持ち回りで計5回の交流会を開催してきたところです。

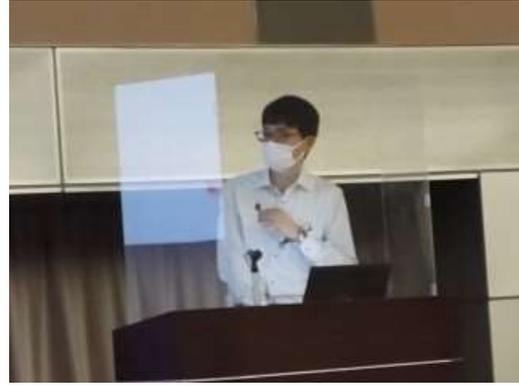
今年は松江市において、下記のとおり開催されました。

記

1. 名称：第6回 山陰両県コンクリート診断士会合同研修会
2. 日時：令和4年9月3日(土) 13:30~16:50 (受付 13:00~13:25)
3. 場所：くにびきメッセ 501 大会議室
鳥根県学園南 1-2-1 TEL 0852-24-1111
4. 主催：鳥根県コンクリート診断士会
共催：鳥取県コンクリート診断士会
5. 開会挨拶：13:30~13:40 (10分)
鳥根県コンクリート診断士会会長 松浦 寛司
6. 基調講演：13:40~15:10 (90分)
演題「補修したコンクリート構造物の再劣化防止に向けた研究紹介」
鳥根大学 学術研究院 環境システム科学系 助教 上野 和広
休憩・会場内換気：15:10~15:20 (10分)
7. 各県会員による業務体験発表
 - (1) 15:20~16:00 (40分)
演題「母衣町雑賀町線 東京橋 橋梁修繕事例について」
鳥根県コンクリート診断士会 青戸 浩一
 - (2) 16:00~16:40 (40分)
演題「仮設足場・補修・診断の実例」
鳥取県コンクリート診断士会 榎田 克仁
8. 閉会挨拶：16:40~16:50 (10分)
鳥取県コンクリート診断士会会長 田中 孝志



会場



上野助教



青戸氏



栢田氏

2022年（令和4年）9月16日付 日刊建設工業新聞 2面

山陰両県のコンクリート診断士会（島根県・松浦寛司会長、鳥取県・田中孝志会長）による第6回合同研修会がこのほど松江市内であり、鳥取県側からはMASUDA専務の栢田克仁氏が「仮設足場・補修・診断の実例」と題して業務体験を

MASUDA専務が発表 山陰両県合同研修会開く コンクリ診断士会



業務体験発表があった
合同研修(くにびきメッセ)

栢田氏は現場の実態に合っていない補修工事を設計変更し、他の工法に切り替えた結果、工期短縮とコスト削減に結び付けた具体的な事例を紹介。その上で、これまで引

き受けた数多くのひび割れ診断の経験を踏まえ、現場周辺の地形や地象、気候、コンクリートの構造など多角的に検証する重要性を説いた。研修会には鳥取、島根両県の建設コンサルタントや建設会社、コンクリート製品商社から60人が参加。基調講演では島根大学の山野和広助教が、補修したコンクリート構造物の再劣化防止に向けた研究の成果を披露した。